

わ だより

We love “もったいない” 3か月の活動実績

回収古着530kg、古本募金7,000円

行動指針“もったいない”を実践
すべく、カレッジ構内に「古本」
「古着」の回収ボックスを設置し、
今春より活動を開始しましたが、こ
のたび4-6月実績数値がまとまりました。



・4-6月活動実績：活動延日数12日、活動延人数37名

・4-6月回収実績：古着533.8kg

古本募金395点・7,139円

古本出荷段ボール6箱

代表・富川 修さんのコメント

「単純に年間ベース換算すると古着2トン超、古本募金5万円といった数字になり、順調な立ち上がりと思います。古本の方は、品質的に換金できないものも多いのですが、直ちに廃棄やリサイクルに回すのではなく施設に寄付されたりしていますので、役に立っていると思います。いろんな運営上の問題がありますが、これからも話し合いながら進んでいきたいですね」

(取材・浜田)

常磐大生に”自分史を語る”

生14・南形 徹

看護学科で学ぶ若者にお年寄りが“自分史を語る”というユニークな催しが5月18日、神戸常磐大（長田区）であり、グループ〈わ〉の7人が参加。4時間にわたって和やかなお喋りタイムを過ごしてきました。

対象学生は81人。〈わ〉の参加者は淡路忠義(福5)、高木良治(福10)、竹田友子(音19)、土井昭政(国10)、南形徹(生14)、元田弘忠(生9)、渡辺寛治(国10)の皆さん。学生は1グループ6~7人ずつに分かれ、シルバー側が1人ずつ担当して、午前と午後の2回行われました。

老年看護学という授業の一環で、学生側の質問に答えてシルバー側が生い立ちや家族、仕事のこと、幼時の思い出、学生



時代や結婚のこと、カレッジでの活動などを自由に語るという形で進められ、中には、「初恋は？」というような質問も飛び出し答えに窮する場面もありました。最後に「これからどう生きたいか」という難しい問いに答えて午前の部を終了。午後も学生のメンバーを変え、同じように行われました。この催しは昨年に次いで2回目。大学側は「来年もぜひ」と乗り気なので、希望者はどうぞ。

しあわせの村

夏休み工作塾

場所 しあわせの村研修館 主催・後援は NPO法人 社会福祉センターグループ (078)743-8101 (公財)こうへ市民会館協賛会 (078)743-6006

日時 **8月4日(土)**

① 10:00~12:00
② 13:00~15:00

[当日受付イベント] 当日先着順

工作内容

- ▶Aブース…木工工作(機関車、動物車、モビール等)
- ▶Bブース…和紙の折り染め、押し花絵葉書・葉、ネイチャークラフト
- ▶Cブース…折り紙、木札工作(焼き絵)、竹細工、つる細工

※各ブースからひとつずつ、計3つの作品を作ることができます。

定員：①②各回先着150名(完全入れ替え制) **小学生対象** 参加費500円
当日9:30から、しあわせの村研修館ホール入口にて午前・午後の両方分の整理券を配布します。
※ただし、木工工作は、午前・午後先着各70名とさせていただきます。
Aブースの木工工作が作れなかった方は、B、Cブースから3作品目をお選びいただけます。

☆ 〈わ〉の会員数 (2018/06/25現在)

1,466名(うち22期生154名)

☆ 水の科学博物館 入場者数

19,010人(年間目標66,000人)

入場者数増にご協力をお願いします!!

ご存知ですか?

子育て支援・しあわせの村駐車料金 **無料!**

ただし、18歳未満のお子様同乗の車両(大型除く)

お子様同伴で各施設窓口へ➡ 駐車券割引処理

☎ 夏恒例の“夏休み工作塾”

8/4(土) しあわせの村研修館にて

編集後記

ぎやらりーわ 新編集体制のスタートです。新たな3人チームで、不慣れな点多々ありますが、〈わ〉の各グループの活発な活動紹介をメインにお知らせしていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。(浜田)

ホームページ(HP)を担当して1年が過ぎました。皆様のご協力により閲覧回数も月1000回を超えるようになりました。さらに閲覧が増加して、HPの掲載効果が上がりますように、皆様の活動情報を提供していただきすようお祈ひします。(才上)

〈わ〉に入ってから最初のぎやらりーわの発行、初めての定期総会の記事、「ワード」での編集に慣れていたが、初めての「編集長」ソフトによる編集など、初めて尽くしで戸惑いながらやっと完成でき、ほっとしているところです。よろしくお祈ひします。(八木)